

レディース通信 4月号

(H27. 3. 25発行)

少しずつ過ごしやすい気候となり、桜の開花も間近となりました。新年度のスタートとなりますね。桜の花言葉は「精神的な美・独立」なのだから、桜の花のように、凛々しく気高くありたいですね。

若い世代の女性に急増している 「子宮頸がん」とは

子宮の入口部分にある「子宮頸部」にできるがんを「子宮頸がん」といいます。ヒトパピローマウイルス（HPV）というウイルスのハイリスク型のものが、子宮の入口部分に感染することが原因で徐々に発症する病気で、遺伝性はありません。このウイルスは、性交経験があればほとんどの女性は1度あるいは度々感染するとされ、注意が必要です。

しかし、感染したからといってすぐに発症するわけではありません。

感染しても約99%以上の女性は自然消滅し、残りの約1%弱の女性が数年を経て発症するとされています。

「子宮頸がんになると妊娠は諦めなきゃならないの？」と不安に思う方もいるかもしれませんが早期発見・早期治療ができれば、妊娠・出産も可能です。

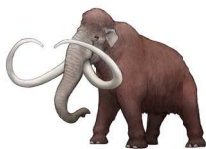
しかし初期の子宮頸がんの症状はほとんどないため、定期的な検診がとても重要になります。1年に1回程度の検査をおすすめします。我が国は検診率が低く（H23年度岡山県で24,9%）問題となっています。

当院でも岡山市・倉敷市の子宮がん検診を、今年も6月より予定しています。詳細は近いうちに院内に掲示しますので、ご確認ください。

最近のトピックス

先日参加した学会で「生殖工学技術によるマンモス復活」というタイトルの講演がありました。羊のドリーを作成したような体細胞核移植の技術で現代にマンモスを復活させようという、なんとも夢のある話です。すでに-20℃で16年間保存したマウスからの体細胞クローン作成は成功していますし、近い動物種同士でのクローン作成も成功しています。

良い状態で保存されているマンモスの細胞と貴重なゾウのたまご（現存しているマンモスに最も近い種はアジアゾウなんだそうです）が必要なので、障害がたくさんありそうですが、ぜひ、生きているマンモスをみたいなあ、と思いました。ところで、餌は何を食べるんでしょうね??



お知らせ

2月21日から4週間のカウンセリング件数は、予約のカウンセリングが8件、診察に来られた際に必要に応じて行った随時のカウンセリングは6件でした。